

第55回 杉並区区民意向調査

区政に関する意識と実態

(要約版)

この小冊子は、令和5年5月に実施しました「第55回杉並区区民意向調査」の結果のあらましです。ご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼を申し上げます。

詳細につきましては、区政資料室、区立図書館、地域区民センターに備え付けの調査報告書をご覧ください。

令和5年10月

杉並区 総務部 区政相談課

【調査のあらまし】

- ・調査対象 満18歳以上の区民
- ・対象者 無作為抽出による3,000人
- ・調査方法 郵送配布・郵送回収またはインターネット回答
- ・回収数 1,234人
- ・回収率 41.1%
- ・調査時期 令和5年5月

【小冊子の見方】

- ・nはその設問の回答者数を表しています。
- ・回答結果は件数を基数とした百分率で算出し、小数第2位を四捨五入してあります。このため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答の場合は合計が100%を超える場合があります。

【調査項目】

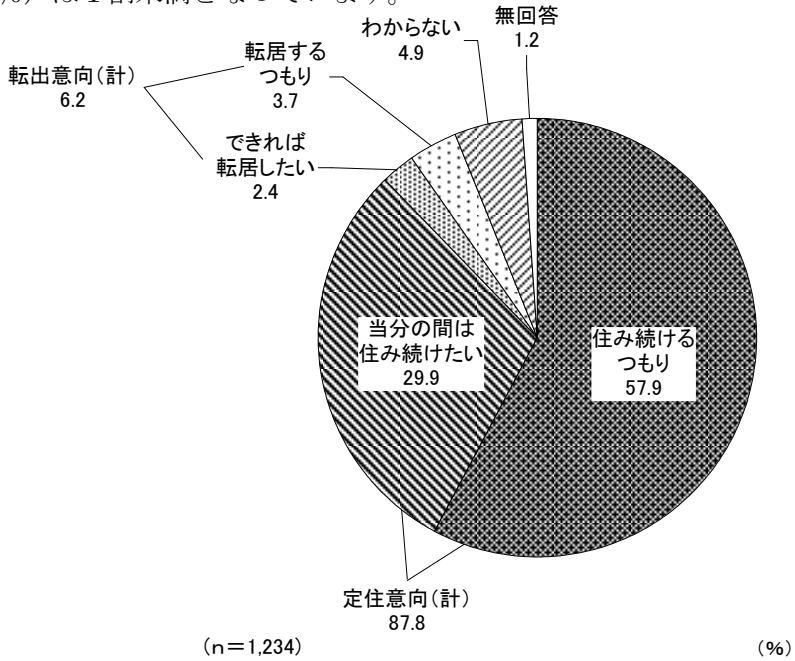
1. 定住性と生活環境について
2. 地域防災について
3. 駅周辺の満足度について
4. 商店街について
5. 環境に配慮した行動について
6. 健康と医療について
7. 高齢者在宅支援について
8. 障害差別の解消について
9. 地域活動について
10. 子育て支援に関する意向について
11. 運動・スポーツについて
12. 生涯学習について
13. 区の情報について
14. 区役所のデジタル化について
15. 協働について
16. その他の区政について
17. 杉並区基本構想について

1. 定住性と生活環境について

定住意向

『定住意向（計）』が9割近く

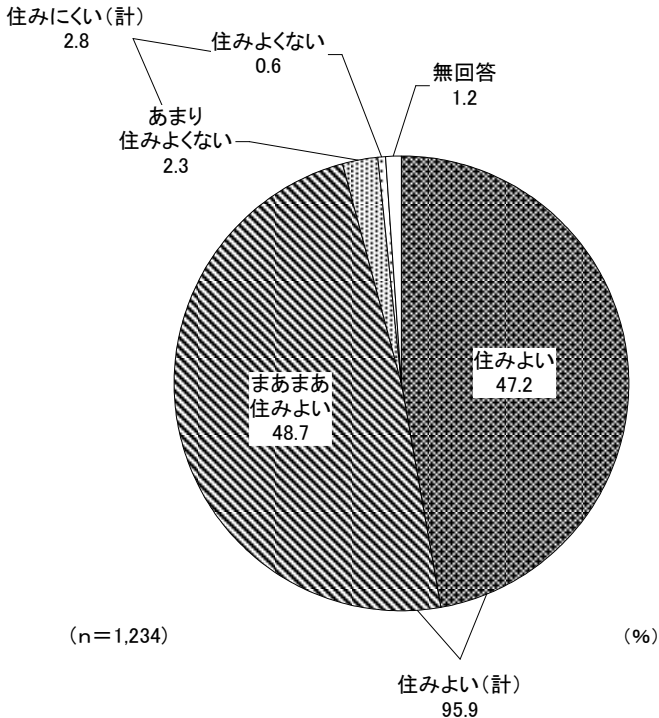
- ◆ 定住意向を聞いたところ、「住み続けるつもり」（57.9%）が6割近くで最も高く、これに「当分の間は住み続けたい」（29.9%）を合わせた『定住意向（計）』（87.8%）は9割近くとなっています。一方、「できれば転居したい」（2.4%）と「転居するつもり」（3.7%）を合わせた『転出意向（計）』（6.2%）は1割未満となっています。



住みやすさ

『住みよい（計）』が9割半ば

- ◆ 現在の杉並区は「住みよいまち」だと思いか聞いたところ、「住みよい」（47.2%）と「まあまあ住みよい」（48.7%）を合わせた『住みよい（計）』（95.9%）は9割半ばとなっています。一方、「あまり住みよくない」（2.3%）と「住みよくない」（0.6%）を合わせた『住みにくい（計）』（2.8%）はわずかとなっています。

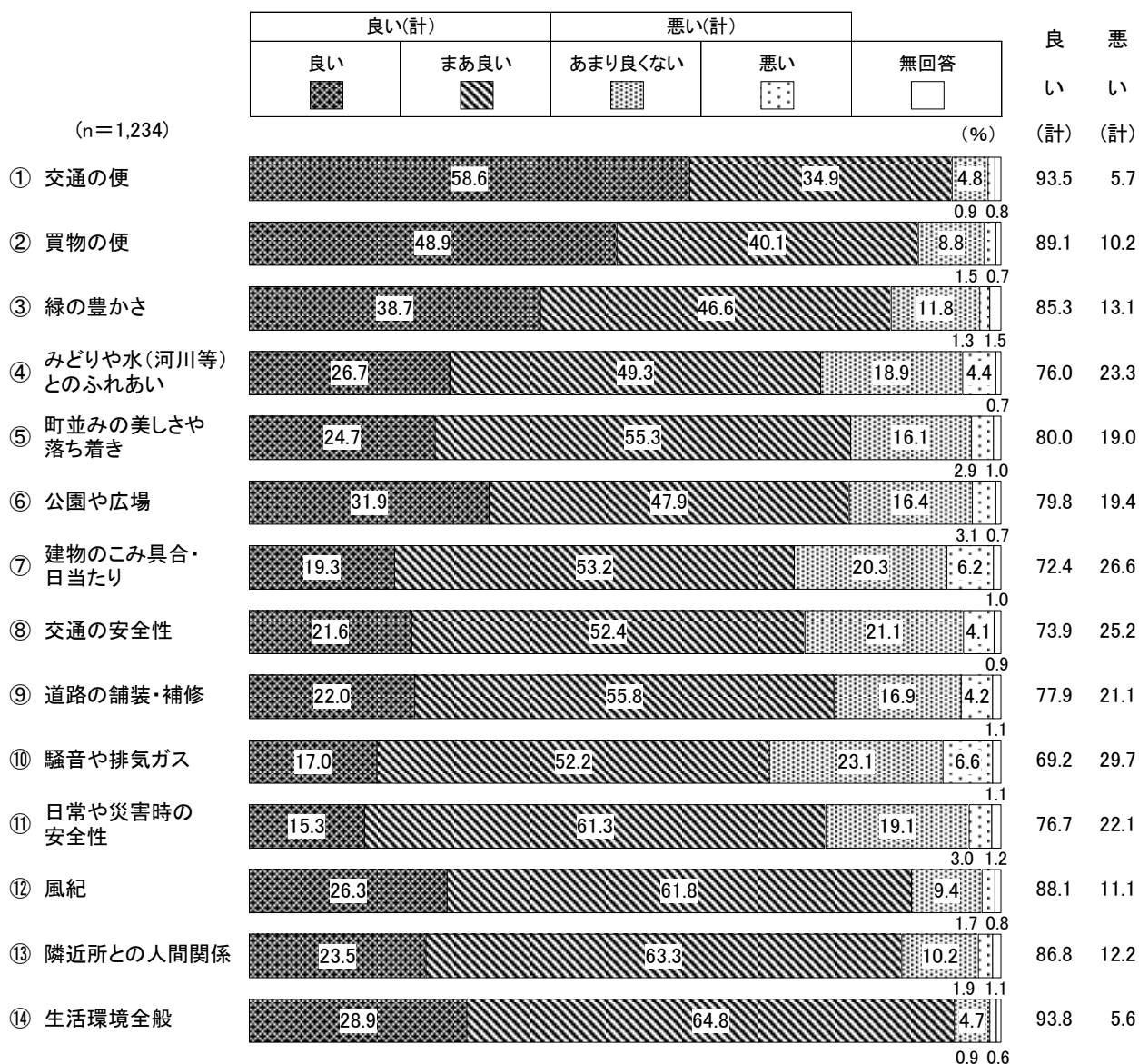


生活環境の評価

＜生活環境全般＞の『良い（計）』が9割を超えて高評価

◆ 自宅周辺の生活環境について聞いたところ、「良い」と「まあ良い」を合わせた『良い（計）』は【生活環境全般】（93.8%）が9割を超えて最も高く、次いで【交通の便】（93.5%）、【買物の便】（89.1%）、【風紀】（88.1%）、【隣近所との人間関係】（86.8%）などの順になっています。

一方、「あまり良くない」と「悪い」を合わせた『悪い（計）』は【騒音や排気ガス】（29.7%）が3割で最も高く、次いで【建物のこみ具合・日当たり】（26.6%）、【交通の安全性】（25.2%）などの順になっています。

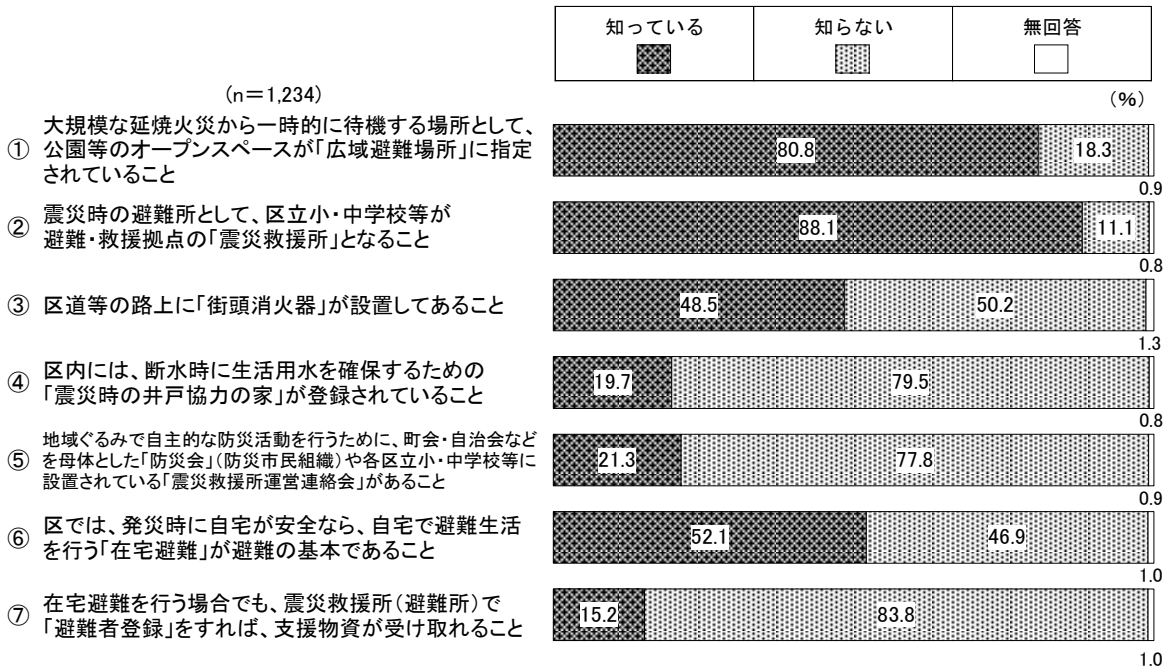


2. 地域防災について

震災対策に関する周知度

【震災救援所】を「知っている」人が9割近く

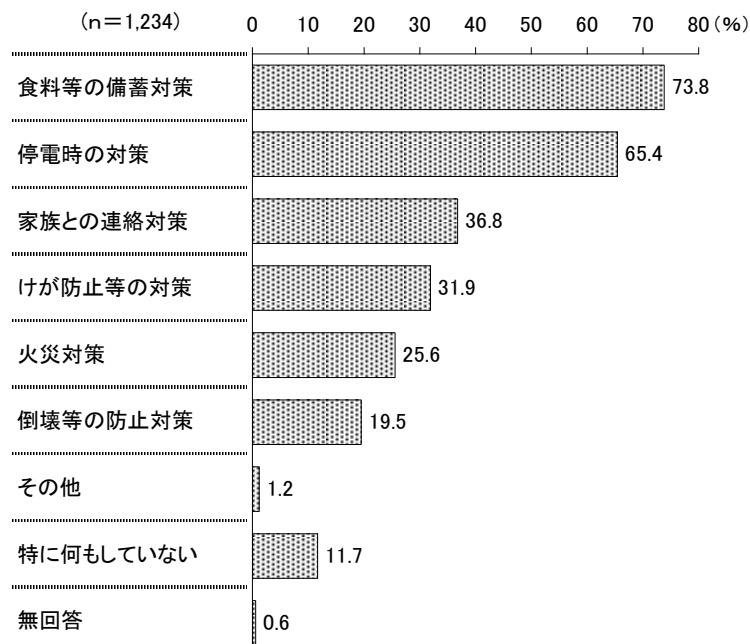
- ◆ 震災対策に関して知っている内容を聞いたところ、「知っている」は【震災救援所】(88.1%)と【広域避難場所】(80.8%)で8割台と高い割合を占めていますが、【街頭消火器】(48.5%)、【防災会や震災救援所運営連絡会】(21.3%)、【震災時の井戸協力の家】(19.7%)、【避難者登録】(15.2%)の4項目で過半数を下回っています。



家庭での防災対策の実施状況

「食料等の備蓄対策」が7割を超える

- ◆ 家庭で行っている防災対策を聞いたところ、「食料等の備蓄対策」(73.8%)が7割を超えて最も高く、次いで「停電時の対策」(65.4%)、「家族との連絡対策」(36.8%)、「けが防止等の対策」(31.9%)、「火災対策」(25.6%)などの順になっています。一方、「特に何もしていない」(11.7%)は1割を超えています。

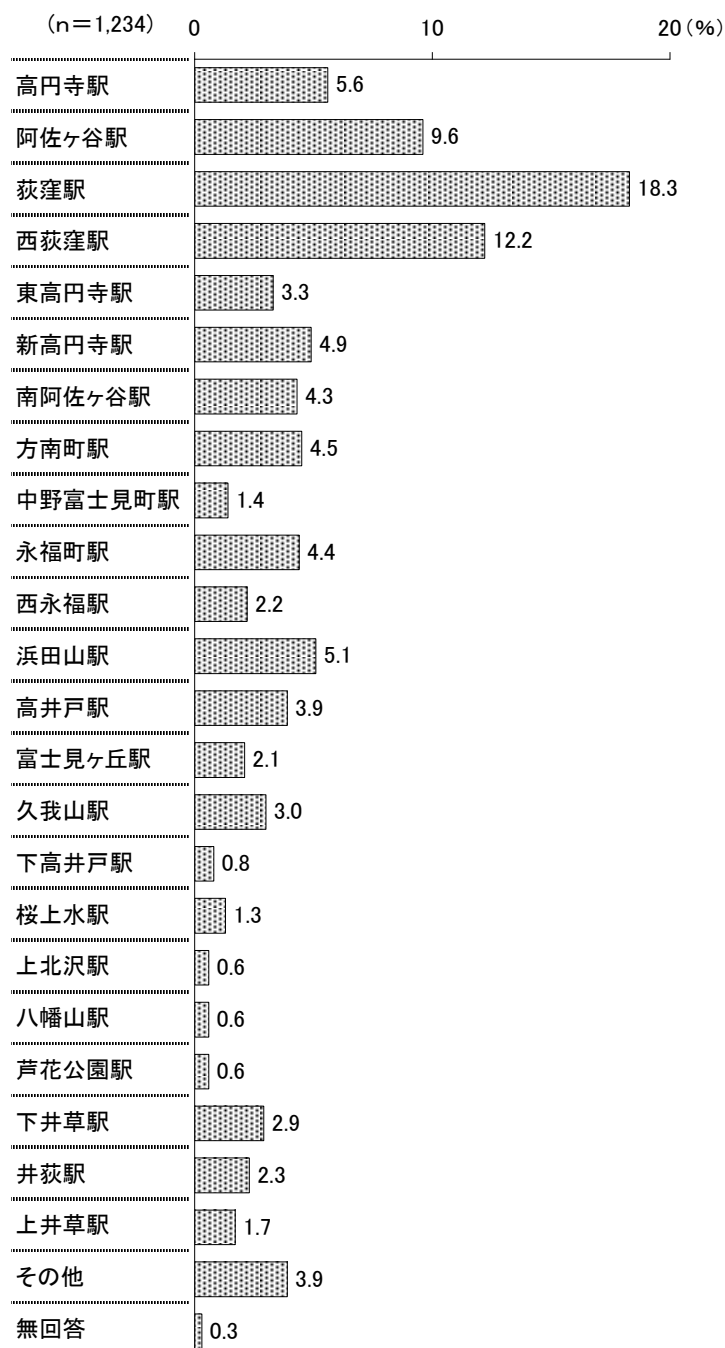


3. 駅周辺の満足度について

普段利用する駅

「荻窪駅」が2割近く

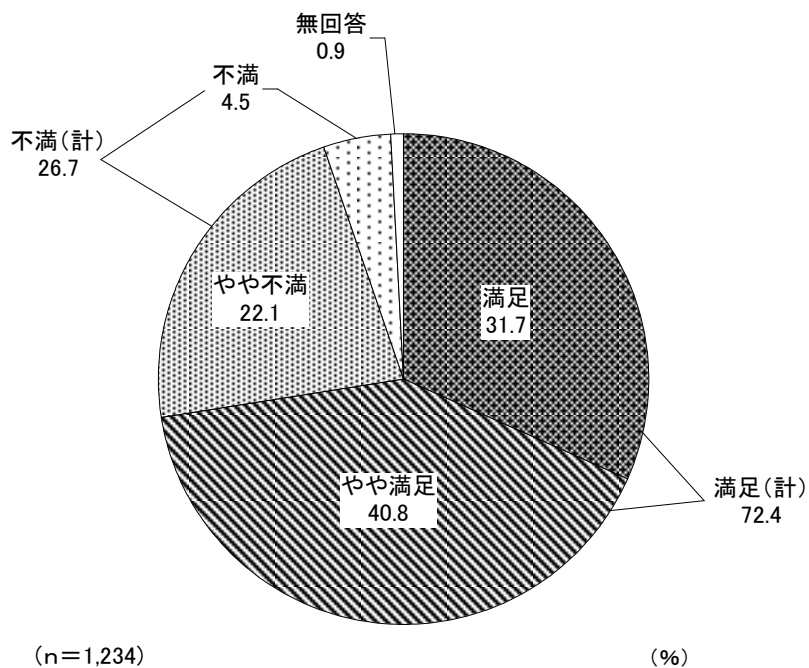
- ◆ 普段利用する駅を聞いたところ、「荻窪駅」(18.3%)が2割近くで最も高く、次いで「西荻窪駅」(12.2%)、「阿佐ヶ谷駅」(9.6%)、「高円寺駅」(5.6%)などの順になっています。



普段利用する駅周辺の満足度

『満足（計）』が7割を超える

- ◆ 普段利用する駅周辺の満足度について聞いたところ、「やや満足」（40.8%）がほぼ4割、これに「満足」（31.7%）を合わせた『満足（計）』（72.4%）は7割を超えています。一方、「やや不満」（22.1%）と「不満」（4.5%）を合わせた『不満（計）』（26.7%）は3割近くとなっています。

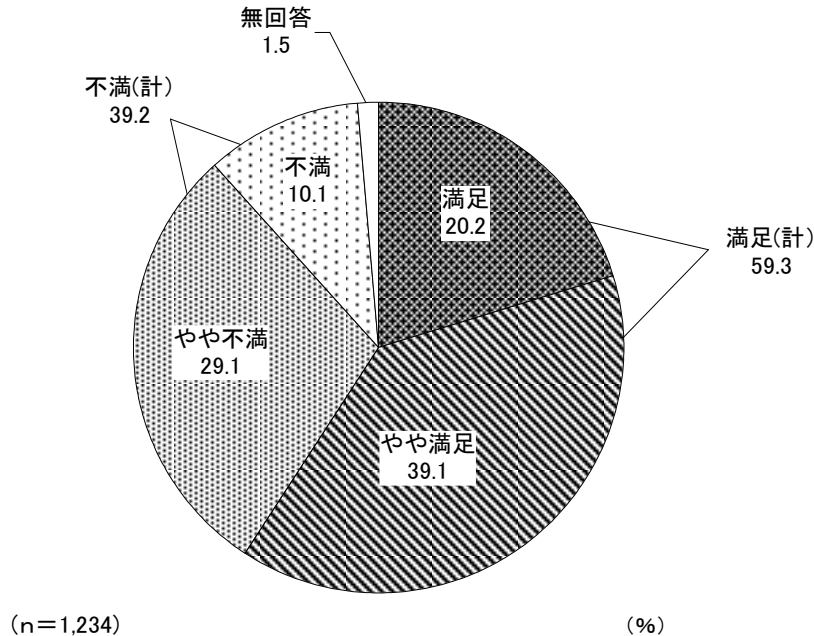


4. 商店街について

商店街の満足度

『満足（計）』がほぼ6割

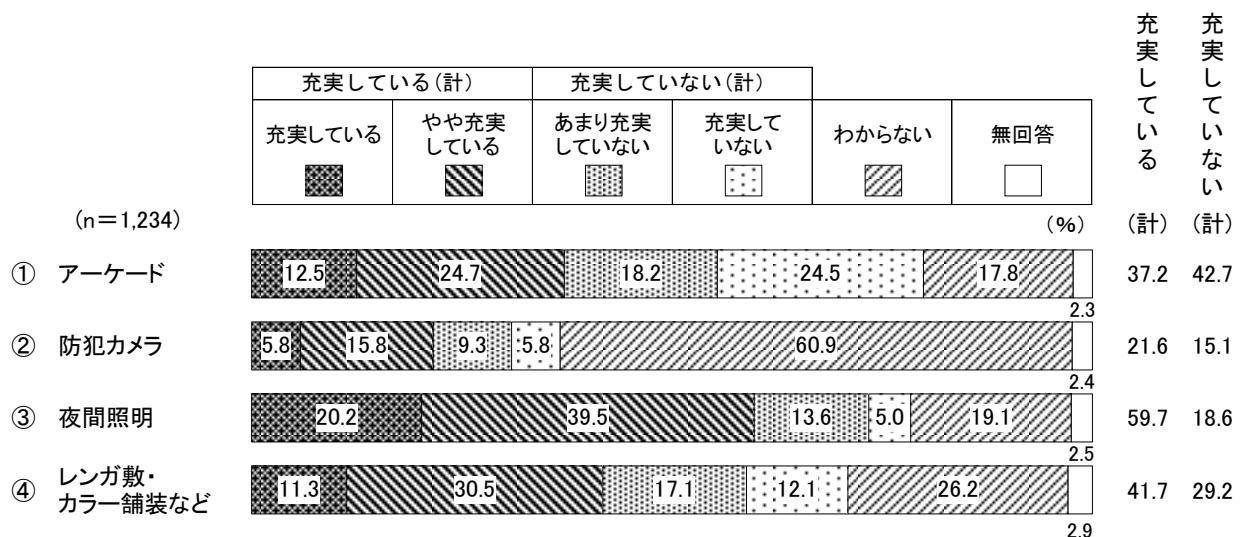
- ◆ 商店街の満足度について聞いたところ、「やや満足」（39.1%）がほぼ4割、これに「満足」（20.2%）を合わせた『満足（計）』（59.3%）はほぼ6割となっています。一方、「やや不満」（29.1%）と「不満」（10.1%）を合わせた『不満（計）』（39.2%）はほぼ4割となっています。



商店街の施設・設備の充実度

【夜間照明】は『充実している（計）』が6割

- ◆ 商店街の施設・設備について聞いたところ、「充実している」と「やや充実している」を合わせた『充実している（計）』は【夜間照明】（59.7%）で6割、【レンガ敷・カラー舗装など】（41.7%）で4割を超えています。
一方、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない（計）』は【アーケード】（42.7%）で4割を超えています。



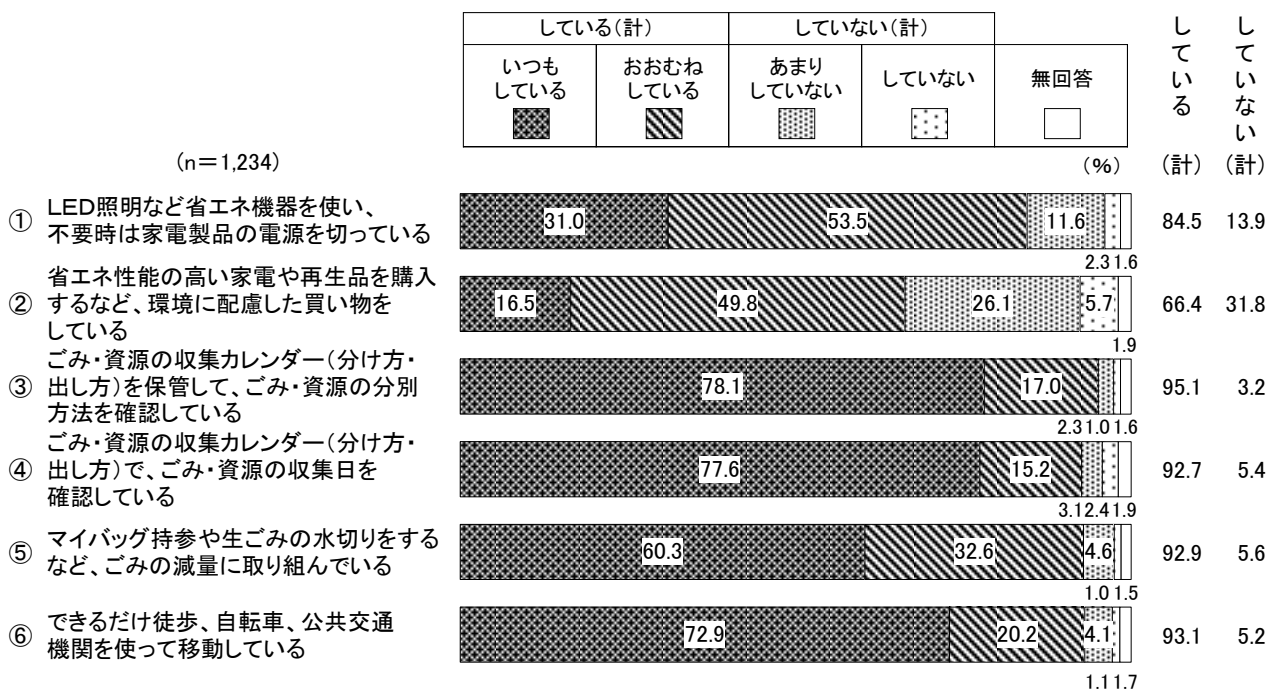
5. 環境に配慮した行動について

環境に配慮した行動への取り組み

【ごみ・資源の収集カレンダー（分け方・出し方）を保管して、ごみ・資源の分別方法を確認している】を『している』人が9割半ば

- ◆ 環境に配慮した行動への取り組みについて聞いたところ、「いつもしている」と「おおむねしている」を合わせた『している（計）』と答えた人は、【ごみ・資源の収集カレンダー（分け方・出し方）を保管して、ごみ・資源の分別方法を確認している】（95.1%）で9割半ば、【できるだけ徒歩、自転車、公共交通機関を使って移動している】（93.1%）、【マイバッグ持参や生ごみの水切りをするなど、ごみの減量に取り組んでいる】（92.9%）、【ごみ・資源の収集カレンダー（分け方・出し方）で、ごみ・資源の収集日を確認している】（92.7%）で9割を超えています。

一方、「あまりしていない」と「していない」を合わせた『していない（計）』と答えた人は、【省エネ性能の高い家電や再生品を購入するなど、環境に配慮した買い物をしている】（31.8%）で3割を超えています。

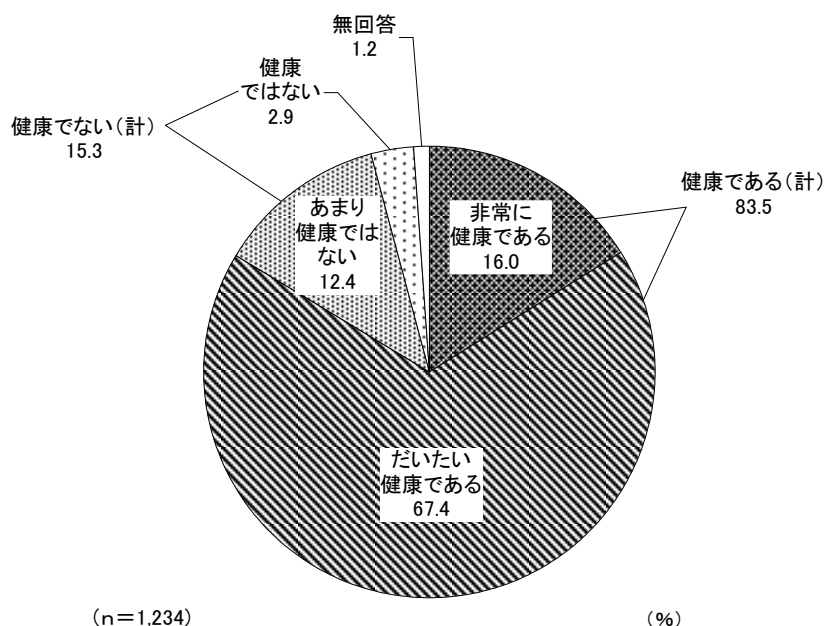


6. 健康と医療について

健康状態

『健康である(計)』が8割を超える

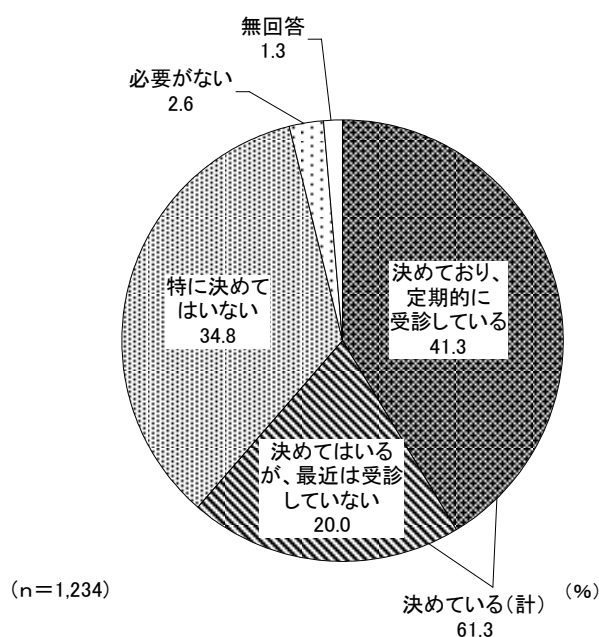
- ◆ 健康状態について聞いたところ、「だいたい健康である」(67.4%)が7割近く、これに「非常に健康である」(16.0%)を合わせた『健康である(計)』(83.5%)は8割を超えています。一方、「あまり健康ではない」(12.4%)と「健康ではない」(2.9%)を合わせた『健康でない(計)』(15.3%)は1割半ばとなっています。



かかりつけ医の有無

かかりつけの医者を決めている(計)人が6割を超える

- ◆ かかりつけの医者を決めているか聞いたところ、「決めており、定期的に受診している」(41.3%)が4割を超え、これに「決めてはいるが、最近を受診していない」(20.0%)を合わせた『決めている(計)』(61.3%)は6割を超えています。一方、「特に決めてはいない」(34.8%)は3割半ば、「必要がない」(2.6%)はわずかとなっています。

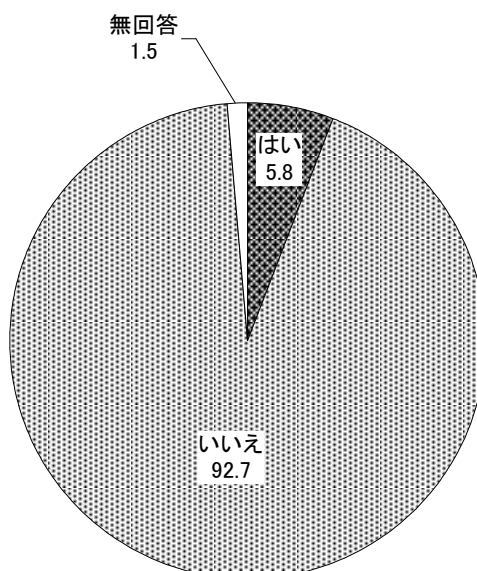


7. 高齢者在宅支援について

現在の介護状況

「いいえ」(介護をしていない)が9割を超える

- ◆ 現在、介護をしているか聞いたところ、「いいえ」(92.7%)が9割を超え、「はい」(5.8%)は1割未満となっています。



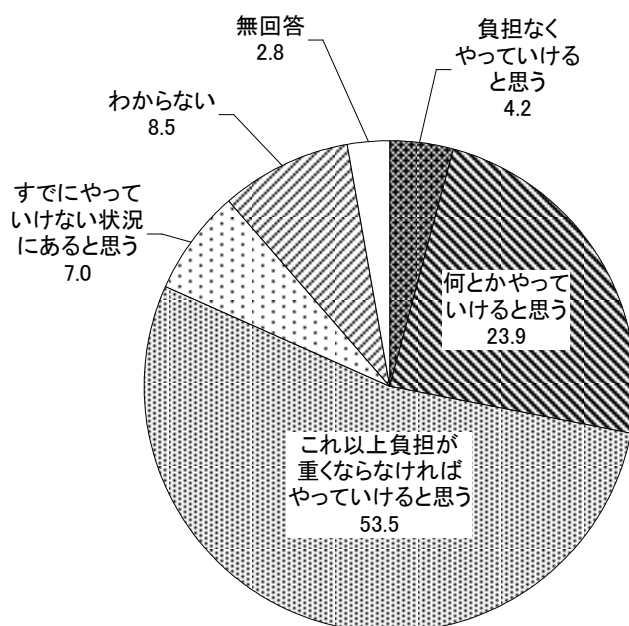
(n=1,234)

(%)

今後の在宅介護の見通し

「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」が5割を超える

- ◆ 現在の介護状況で「介護をしている」と答えた人(71人)に、今後の在宅介護の見通しを聞いたところ、「これ以上負担が重くならなければやっていけると思う」(53.5%)が5割を超えて最も高く、次いで「何とかやっていけると思う」(23.9%)、「すでにやっていけない状況にあると思う」(7.0%)などの順になっています。



(n=71)

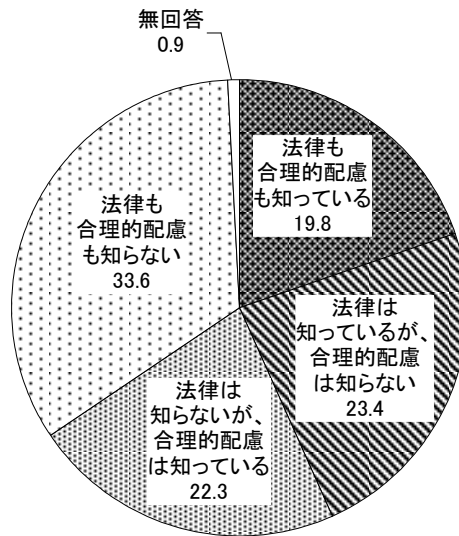
(%)

8. 障害差別の解消について

「障害者差別解消法」や合理的配慮の認知度

「法律も合理的配慮も知らない」が3割を超える

- ◆ 「障害者差別解消法」や合理的配慮について知っているか聞いたところ、「法律も合理的配慮も知っている」(19.8%)は2割、「法律は知っているが、合理的配慮は知らない」(23.4%)と「法律は知らないが、合理的配慮は知っている」(22.3%)はともに2割を超えています。また、「法律も合理的配慮も知らない」(33.6%)が3割を超えています。



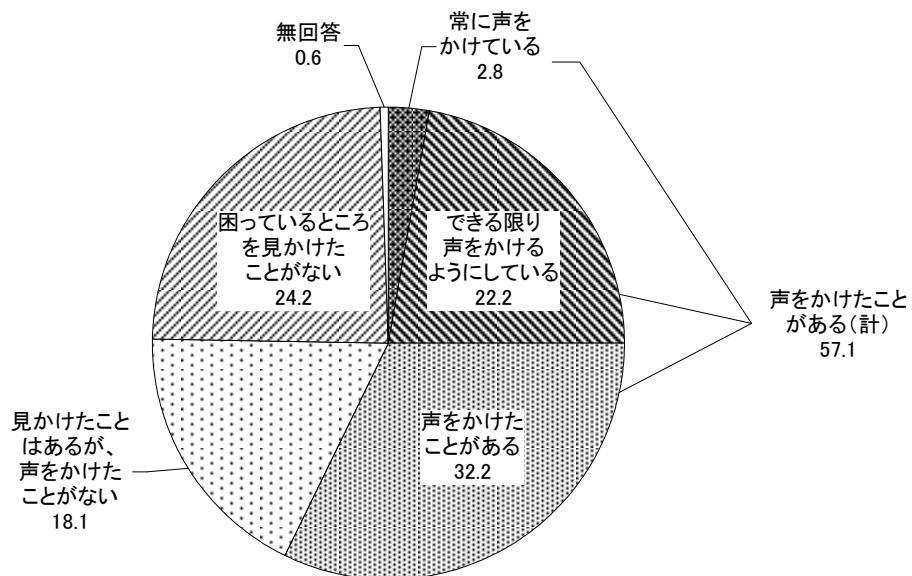
(n=1,234)

(%)

障害のある方への声かけ

『声をかけたことがある(計)』が6割近く

- ◆ 障害のある方が困っているところを見かけた際に声をかけたことがあるか聞いたところ、「声をかけたことがある」(32.2%)が3割を超え、これに「常に声をかけている」(2.8%)と「できる限り声をかけるようにしている」(22.2%)を合わせた『声をかけたことがある(計)』(57.1%)は6割近くとなっています。一方、「見かけたことはあるが、声をかけたことがない」(18.1%)は2割近く、「困っているところを見かけたことがない」(24.2%)は2割半ばとなっています。



(n=1,234)

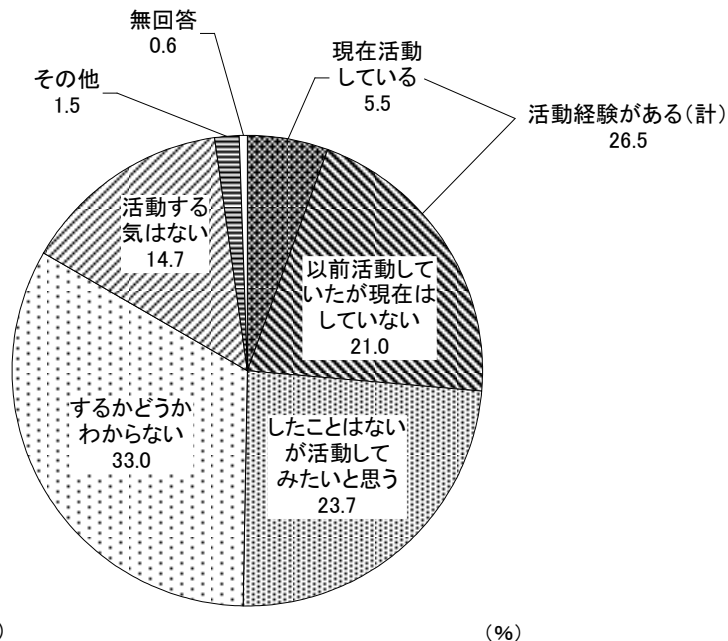
(%)

9. 地域活動について

ボランティア活動経験

『活動経験がある（計）』が3割近く

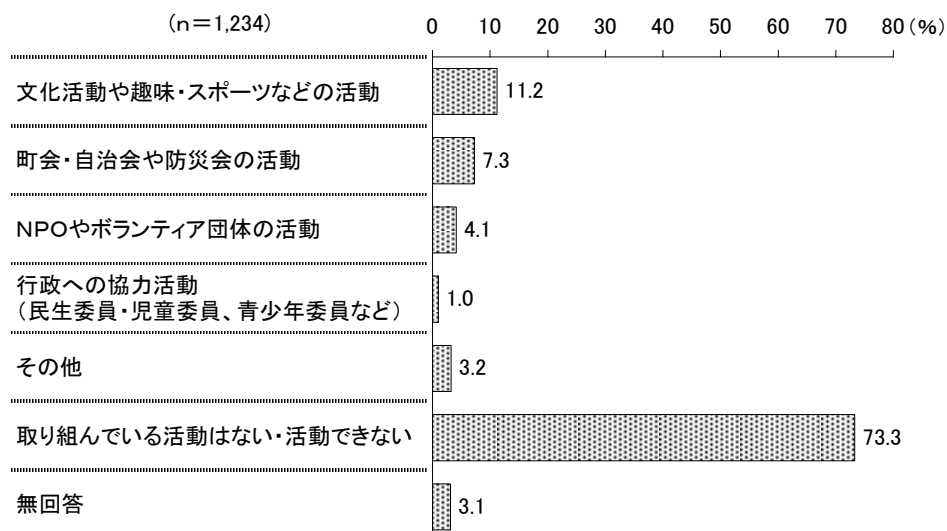
- ◆ ボランティア活動をした経験があるか聞いたところ、「現在活動している」(5.5%)と「以前活動していたが現在はしていない」(21.0%)を合わせた『活動経験がある（計）』(26.5%)は3割近くとなっています。「したことはないが活動してみたいと思う」(23.7%)は2割を超え、「するかどうか分からない」(33.0%)は3割を超え、「活動する気はない」(14.7%)は1割半ばとなっています。



地域活動・社会活動参加状況

「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」が1割を超える

- ◆ 参加している地域活動、社会活動を聞いたところ、「文化活動や趣味・スポーツなどの活動」(11.2%)が1割を超えて最も高く、次いで「町会・自治会や防災会の活動」(7.3%)、「NPOやボランティア団体の活動」(4.1%)などの順になっています。一方、「取り組んでいる活動はない・活動できない」(73.3%)は7割を超えています。

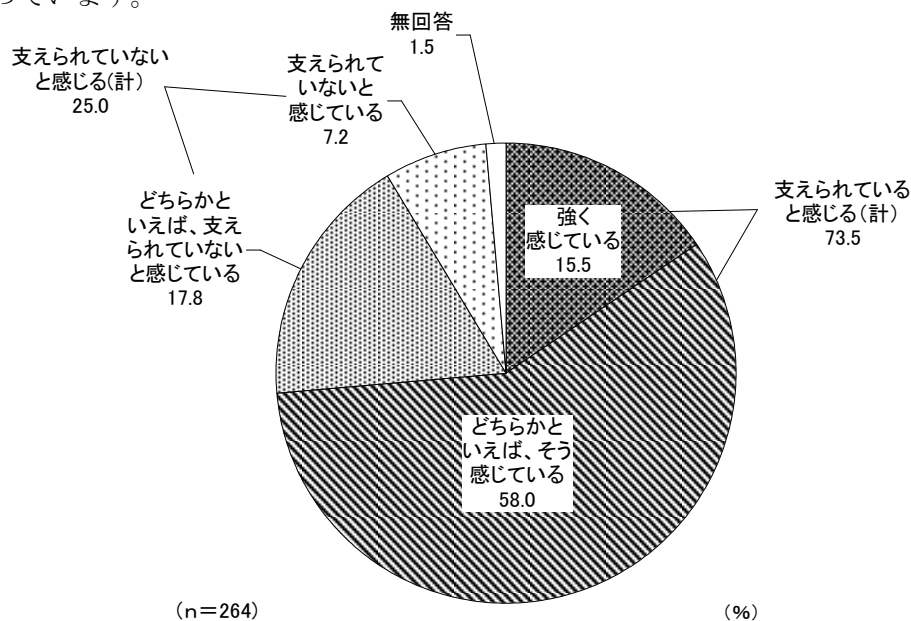


10. 子育て支援に関する意向について

地域の子育て支援についての意識

地域や社会に『支えられていると感じる（計）』が7割を超える

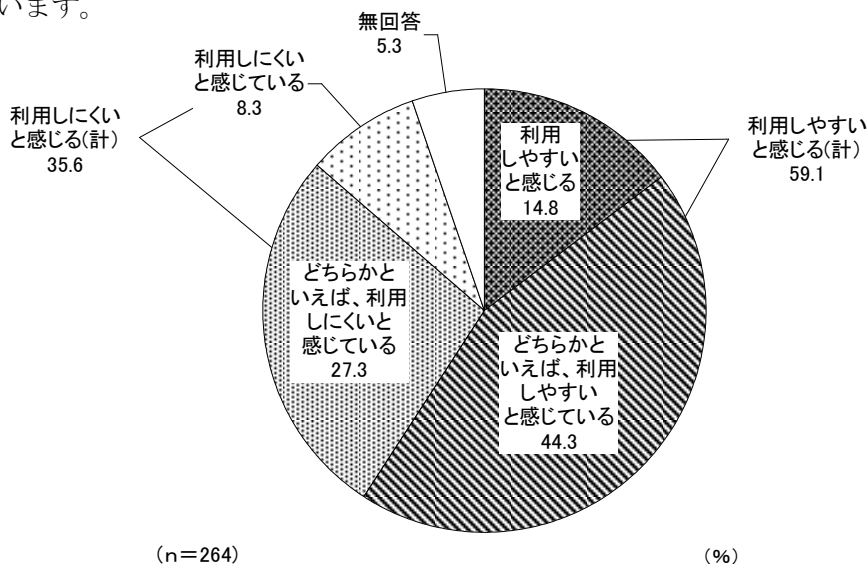
- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（264人）に、子育てが地域の人に（もしくは社会で）支えられていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、そう感じている」（58.0%）が6割近くで、これに「強く感じている」（15.5%）を合わせた『支えられていると感じる（計）』（73.5%）は7割を超えています。一方、「どちらかといえば、支えられていないと感じている」（17.8%）と「支えられていないと感じている」（7.2%）を合わせた『支えられていないと感じる（計）』（25.0%）は2割半ばとなっています。



地域の子育て支援サービス等の利用しやすさ

『利用しやすいと感じる（計）』がほぼ6割

- ◆ 18歳未満の子どもがいる人（264人）に、地域の子育て支援サービス・施設が利用しやすいと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば、利用しやすいと感じている」（44.3%）が4割半ば、これに「利用しやすいと感じる」（14.8%）を合わせた『利用しやすいと感じる（計）』（59.1%）はほぼ6割となっています。一方、「どちらかといえば、利用しにくいと感じている」（27.3%）と「利用しにくいと感じている」（8.3%）を合わせた『利用しにくいと感じる（計）』（35.6%）は3割半ばとなっています。

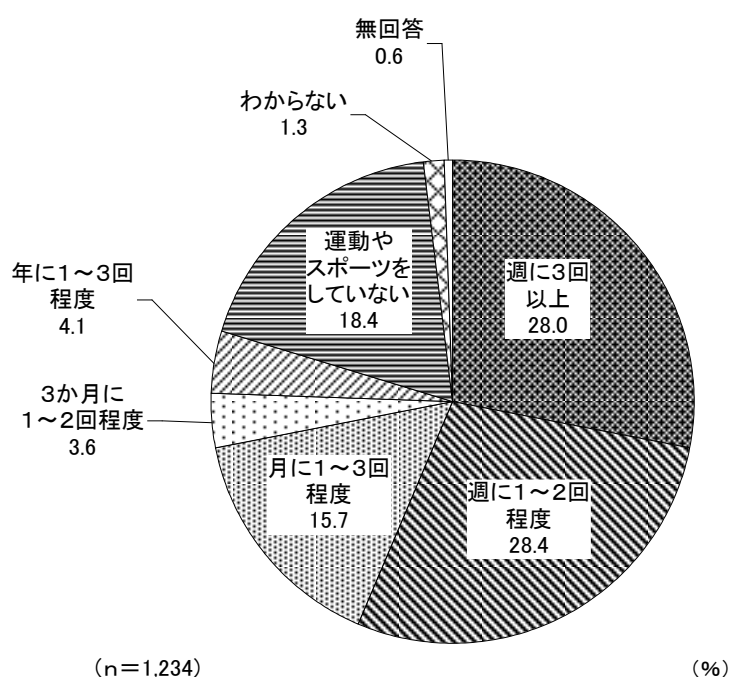


11. 運動・スポーツについて

この1年間の運動やスポーツの実施状況

「週に1～2回程度」と「週に3回以上」がともに3割近く

- ◆ この1年間の運動やスポーツの実施状況について聞いたところ、「週に1～2回程度」(28.4%)と「週に3回以上」(28.0%)がともに3割近くで高く、次いで「月に1～3回程度」(15.7%)、「年に1～3回程度」(4.1%)、「3か月に1～2回程度」(3.6%)の順になっています。一方、「運動やスポーツをしていない」(18.4%)は2割近くとなっています。

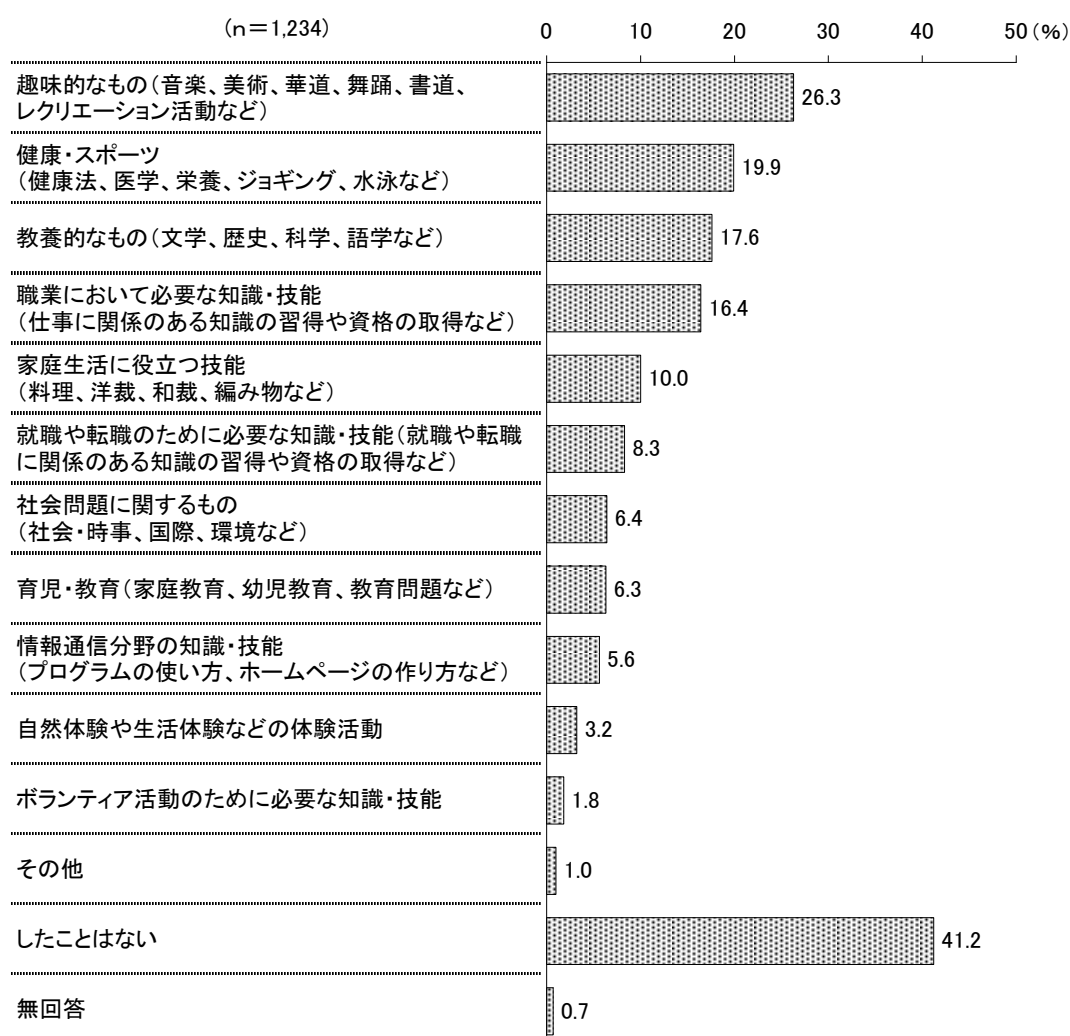


12. 生涯学習について

この1年間の生涯学習の実施状況

「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」が2割半ば

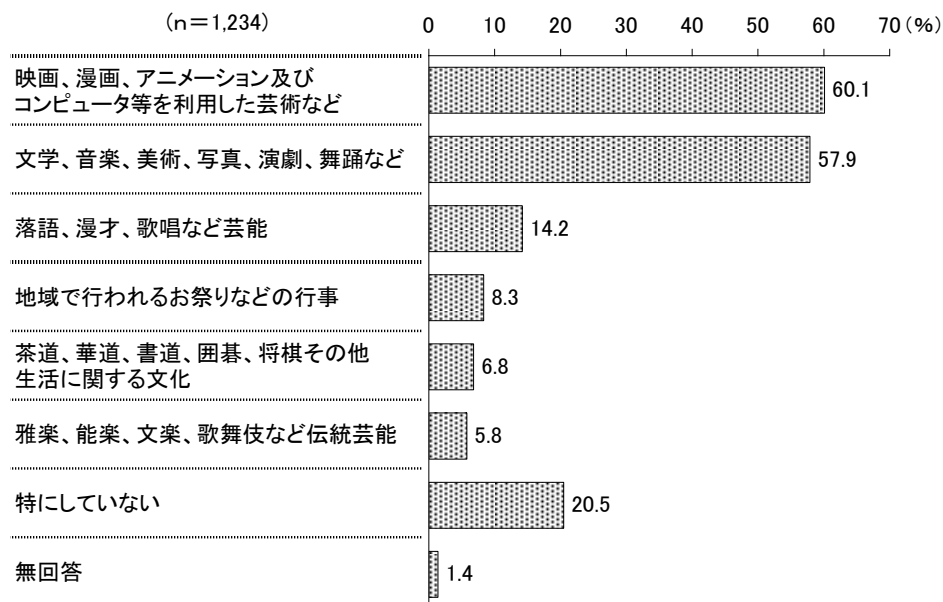
- ◆ この1年間の生涯学習の実施状況について聞いたところ、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）」(26.3%) が2割半ばで最も高く、次いで「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」(19.9%)、「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）」(17.6%) などの順になっています。一方、「したことはない」(41.2%) は4割を超えています。



文化・芸術鑑賞の有無

「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」が6割

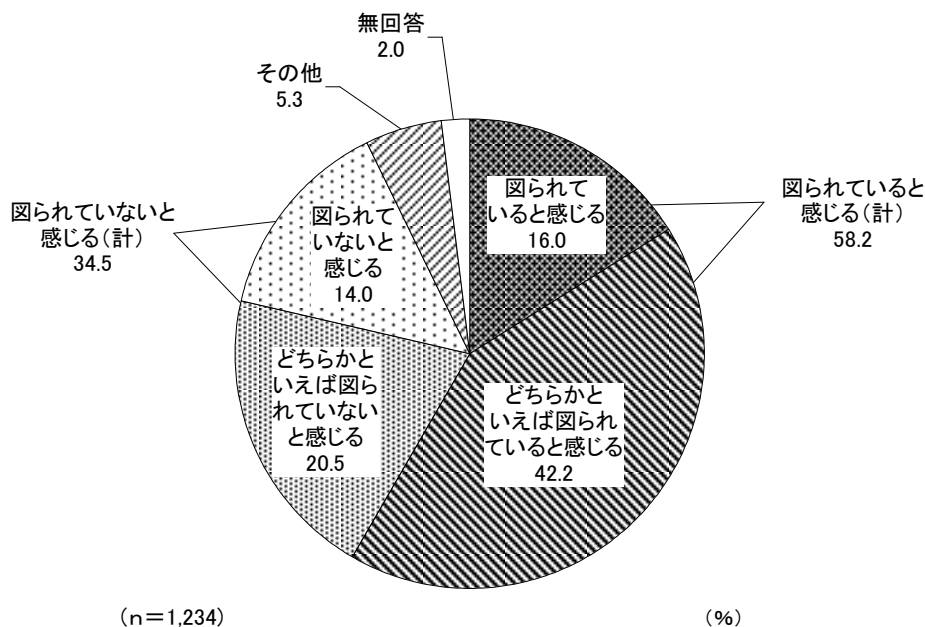
- ◆ 文化・芸術鑑賞の有無について聞いたところ、「映画、漫画、アニメーション及びコンピュータ等を利用した芸術など」(60.1%)が6割で最も高く、次いで「文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊など」(57.9%)、「落語、漫才、歌唱など芸能」(14.2%)などの順になっています。一方、「特にしていない」(20.5%)はほぼ2割となっています。



仕事と生活の調和に対する意識

調和が『図られていると感じる(計)』が6割近く

- ◆ 仕事と生活の調和が図られていると感じるか聞いたところ、「どちらかといえば図られていると感じる」(42.2%)が4割を超え、これに「図られていると感じる」(16.0%)を合わせた『図られていると感じる(計)』(58.2%)は6割近くとなっています。一方、「どちらかといえば図られていないと感じる」(20.5%)と「図られていないと感じる」(14.0%)を合わせた『図られていないと感じる(計)』(34.5%)は3割半ばとなっています。

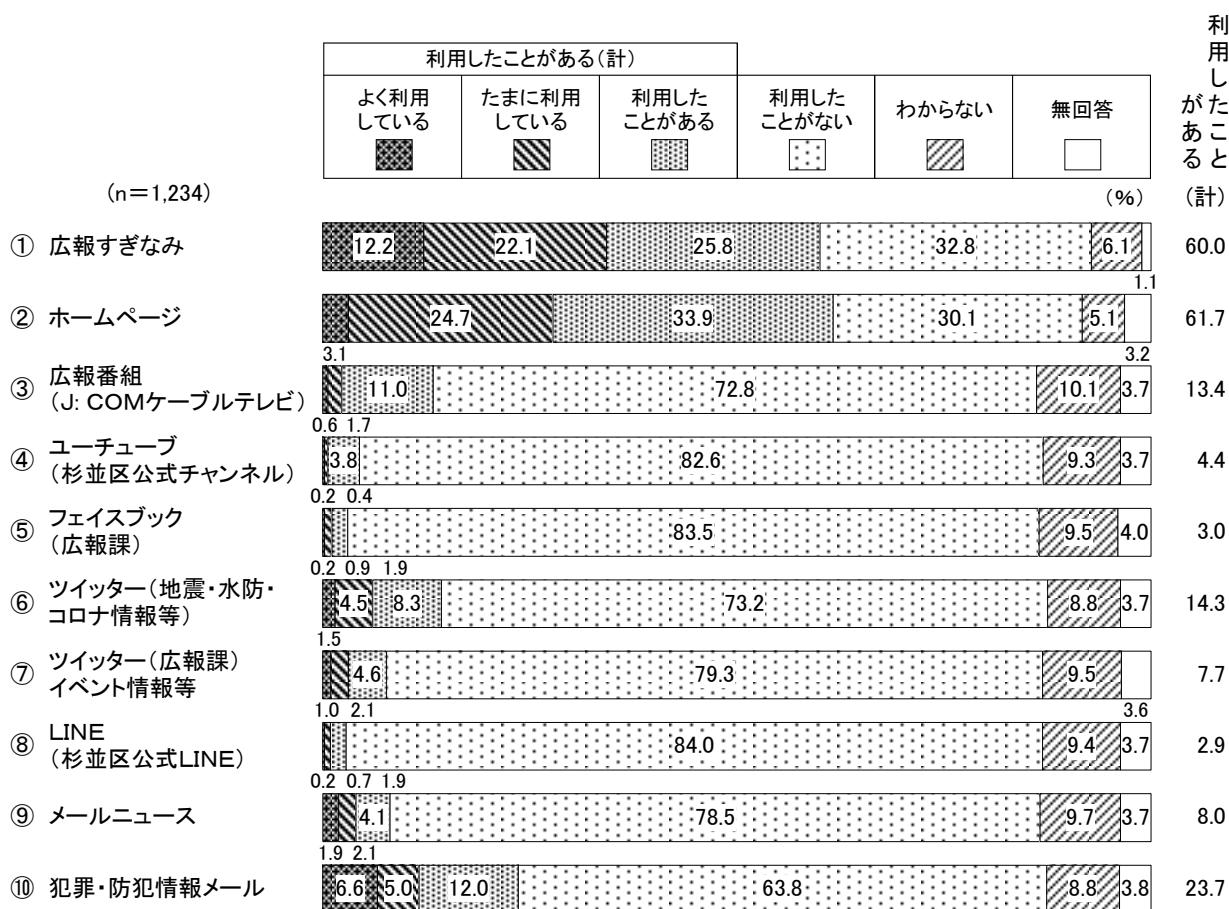


13. 区の情報について

区の広報媒体等の利用状況

【ホームページ】を『利用したことがある（計）』人が6割を超える

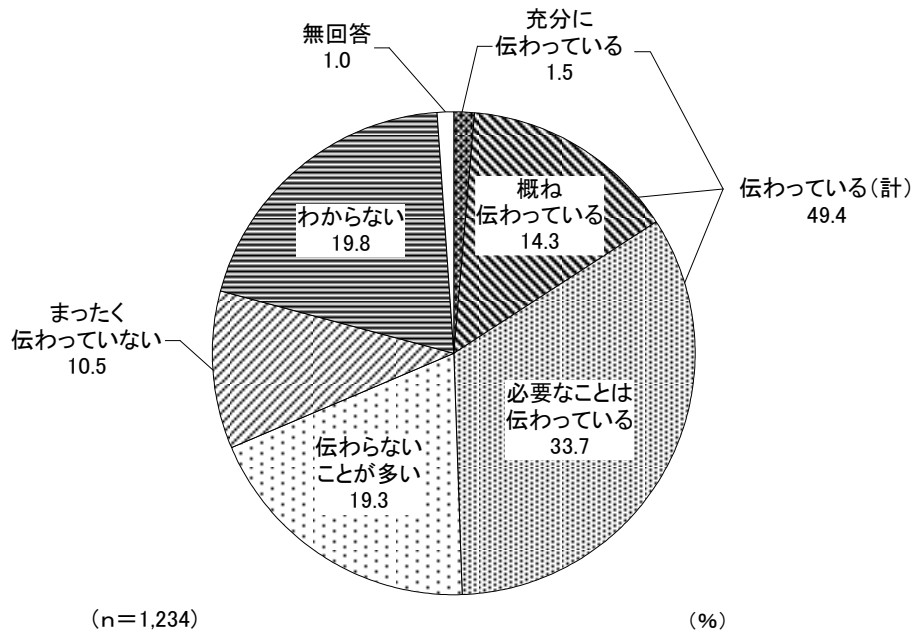
- ◆ 区の広報媒体等の利用状況について聞いたところ、「よく利用している」、「たまに利用している」、「利用したことがある」を合わせた『利用したことがある（計）』は、【ホームページ】（61.7%）が6割を超えて最も高く、次いで【広報すぎなみ】（60.0%）、【犯罪・防犯情報メール】（23.7%）、【ツイッター（地震・水防・コロナ情報等）】（14.3%）などの順になっています。



区の情報伝達度

『伝わっている(計)』がほぼ5割

- ◆ 必要とする区の情報伝わっているか聞いたところ、「十分に伝わっている」(1.5%)、「概ね伝わっている」(14.3%)、「必要なことは伝わっている」(33.7%)を合わせた『伝わっている(計)』(49.4%)はほぼ5割となっています。一方、「伝わらないことが多い」(19.3%)がほぼ2割、「まったく伝わっていない」(10.5%)はほぼ1割となっています。

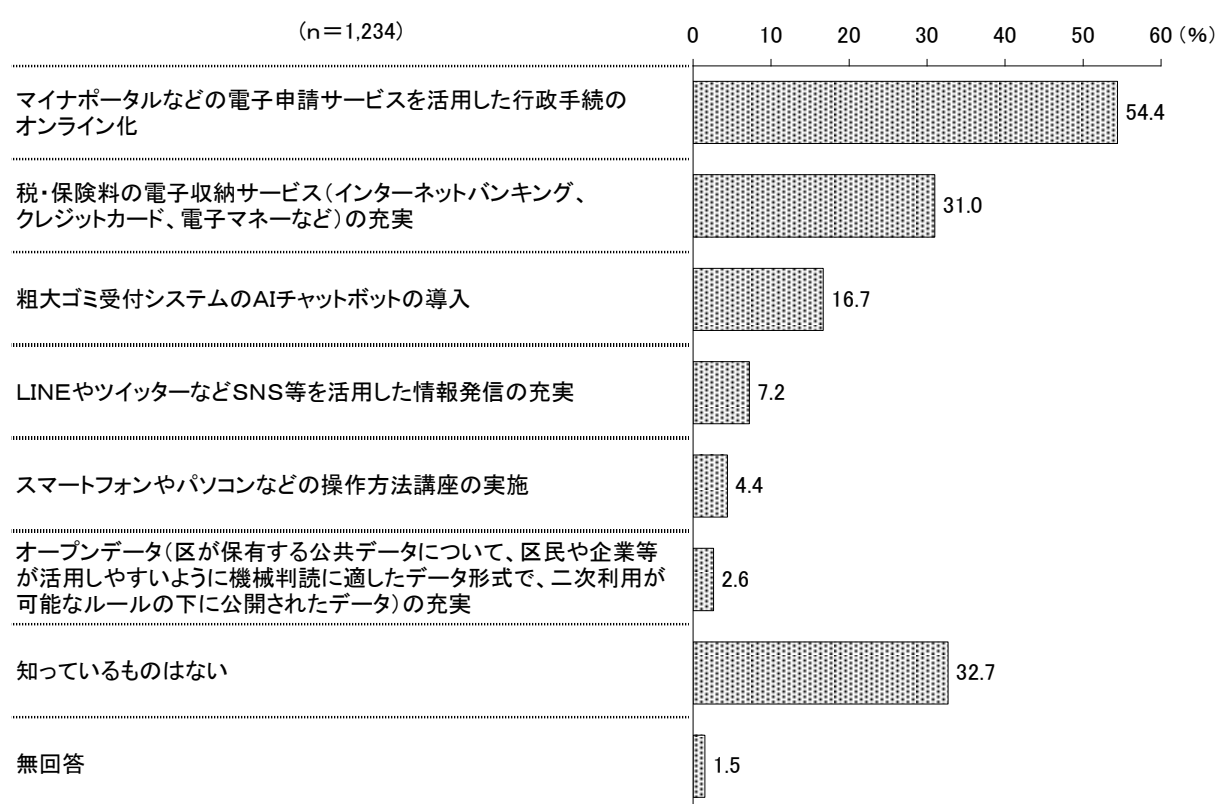


14. 区役所のデジタル化について

区のデジタル化に関する取り組みの認知度

「マイナポータルなどの電子申請サービスを活用した行政手続のオンライン化」が5割半ば

- ◆ 区のデジタル化に関する次の取り組みを知っているか聞いたところ、「マイナポータルなどの電子申請サービスを活用した行政手続のオンライン化」(54.4%)が5割半ばで最も高く、次いで「税・保険料の電子収納サービス(インターネットバンキング、クレジットカード、電子マネーなど)の充実」(31.0%)、「粗大ゴミ受付システムのAIチャットボットの導入」(16.7%)などの順になっています。一方、「知っているものはない」(32.7%)は3割を超えています。

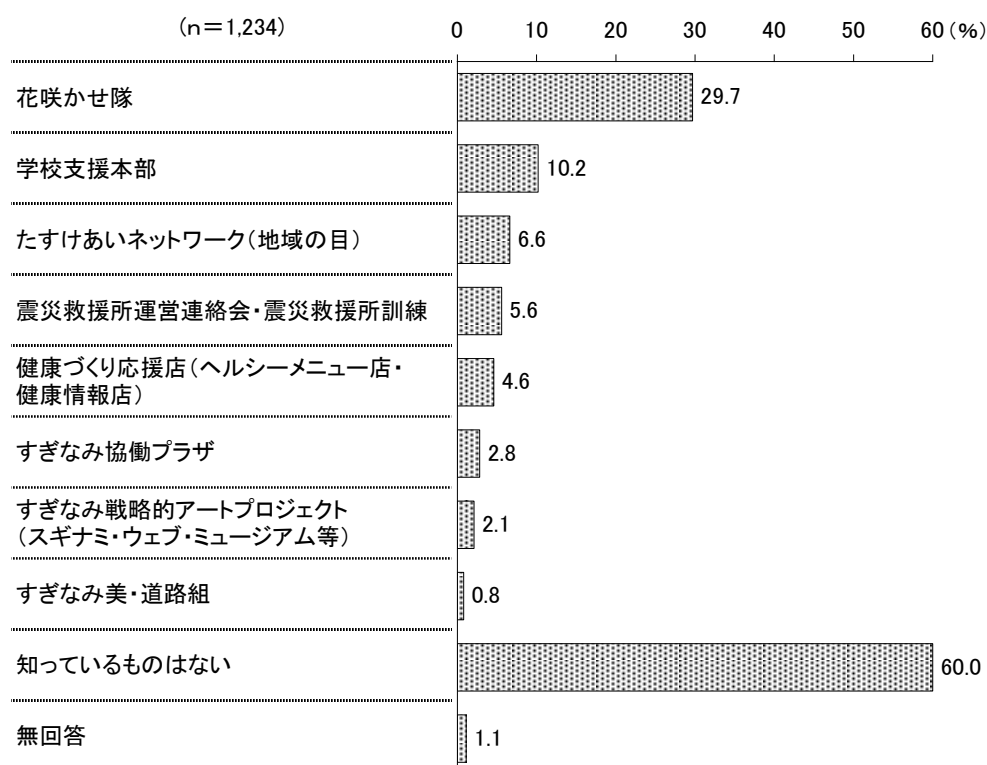


15. 協働について

「協働」に関する取り組みの認知度

「花咲かせ隊」が3割

- ◆ 「協働」に関する取り組みで知っているものを聞いたところ、「花咲かせ隊」(29.7%)が3割で最も高く、次いで「学校支援本部」(10.2%)、「たすけあいネットワーク(地域の目)」(6.6%)などの順になっています。一方、「知っているものはない」(60.0%)は6割となっています。

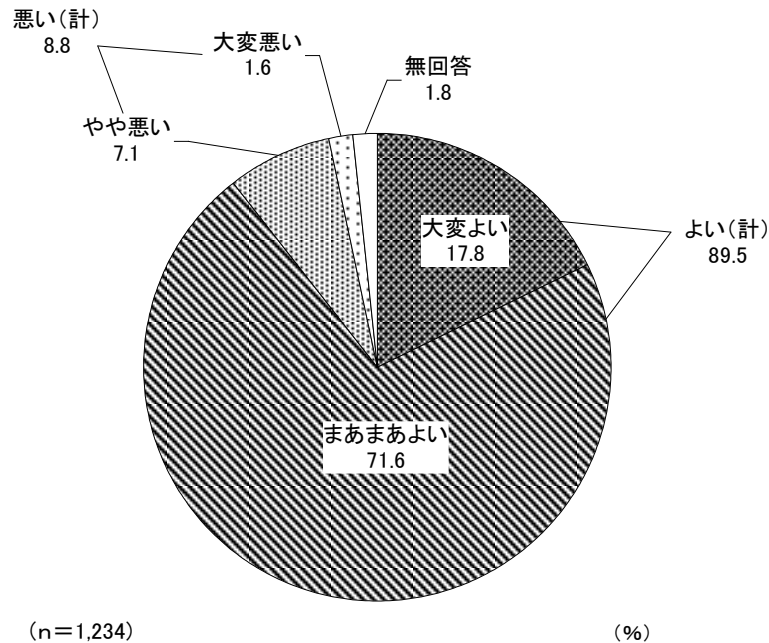


16. その他の区政について

区の職員の対応への印象

区役所の対応は『よい(計)』が9割

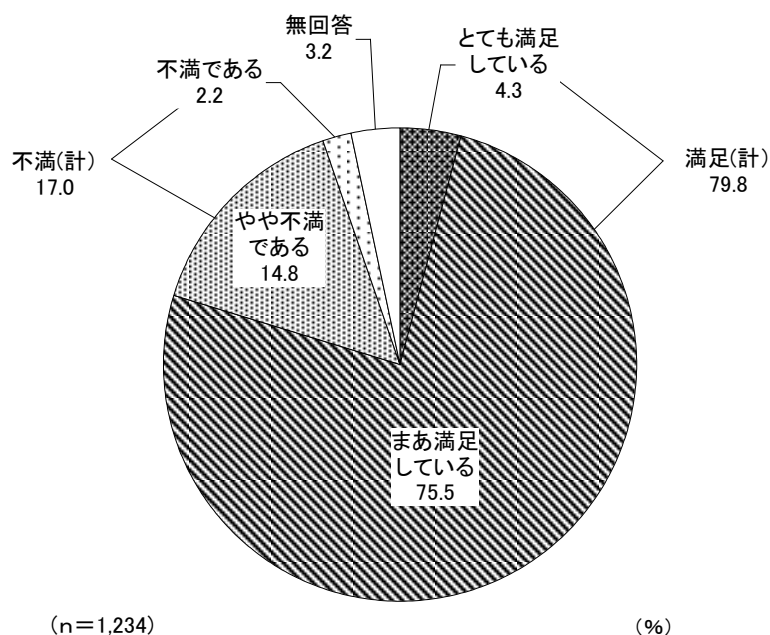
- ◆ 区の職員の対応への印象について聞いたところ、「まあまあよい」(71.6%)が7割を超え、これに「大変よい」(17.8%)を合わせた『よい(計)』(89.5%)は9割となっています。一方、「やや悪い」(7.1%)と「大変悪い」(1.6%)を合わせた『悪い(計)』(8.8%)は1割未満となっています。



区の事業やサービスの満足度

『満足(計)』が8割

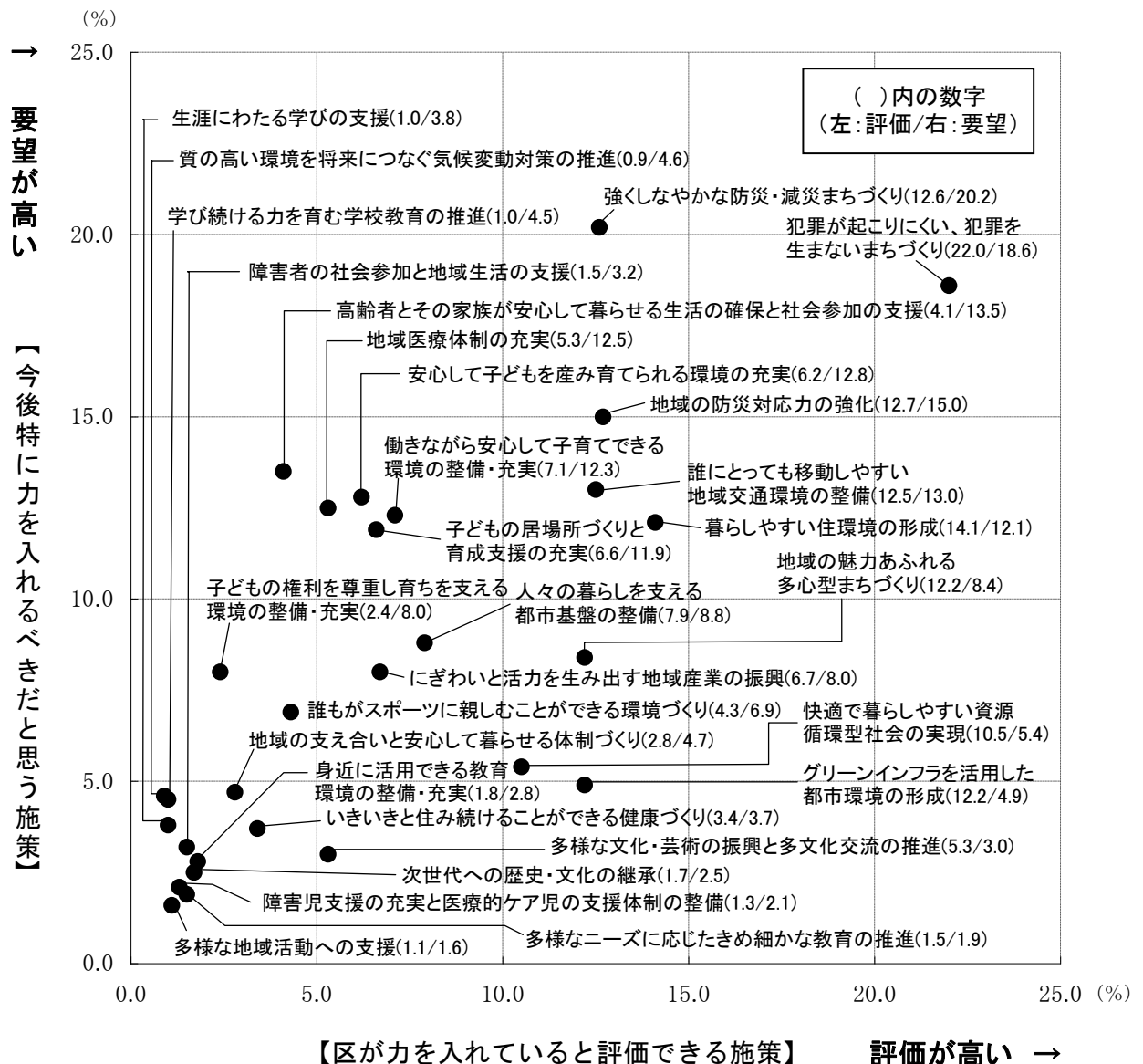
- ◆ 杉並区の事業やサービスの満足度を聞いたところ、「まあ満足している」(75.5%)が7割半ば、これに「とても満足している」(4.3%)を合わせた『満足(計)』(79.8%)は8割となっています。一方、「やや不満である」(14.8%)と「不満である」(2.2%)を合わせた『不満(計)』(17.0%)は2割近くとなっています。



杉並区の施策の評価と要望

施策の評価では「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」が2割を超える
 施策の要望では「強くしなやかな防災・減災まちづくり」が2割

- ◆ 杉並区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」(22.0%)が2割を超えて最も高く、次いで「暮らしやすい住環境の形成」(14.1%)、「地域の防災対応力の強化」(12.7%)、「強くしなやかな防災・減災まちづくり」(12.6%)、「誰にとっても移動しやすい地域交通環境の整備」(12.5%)などの順になっています。
- ◆ 杉並区が今後特に力を入れるべきだと思う施策を聞いたところ、「強くしなやかな防災・減災まちづくり」(20.2%)が2割で最も高く、次いで「犯罪が起こりにくい、犯罪を生まないまちづくり」(18.6%)、「地域の防災対応力の強化」(15.0%)、「高齢者とその家族が安心して暮らせる生活の確保と社会参加の支援」(13.5%)などの順になっています。
- ◆ 力を入れていると評価できる施策（施策の評価）と今後特に力を入れるべきだと思う施策（施策の要望）を相関させた散布図は以下のとおりです。横軸が施策の評価で、縦軸が施策の要望です。このグラフでは、**施策の評価が低く、施策の要望が高い領域（左上方）にある項目が比較的住民ニーズが高いもので、今後の行政課題となるものと考えられます。**

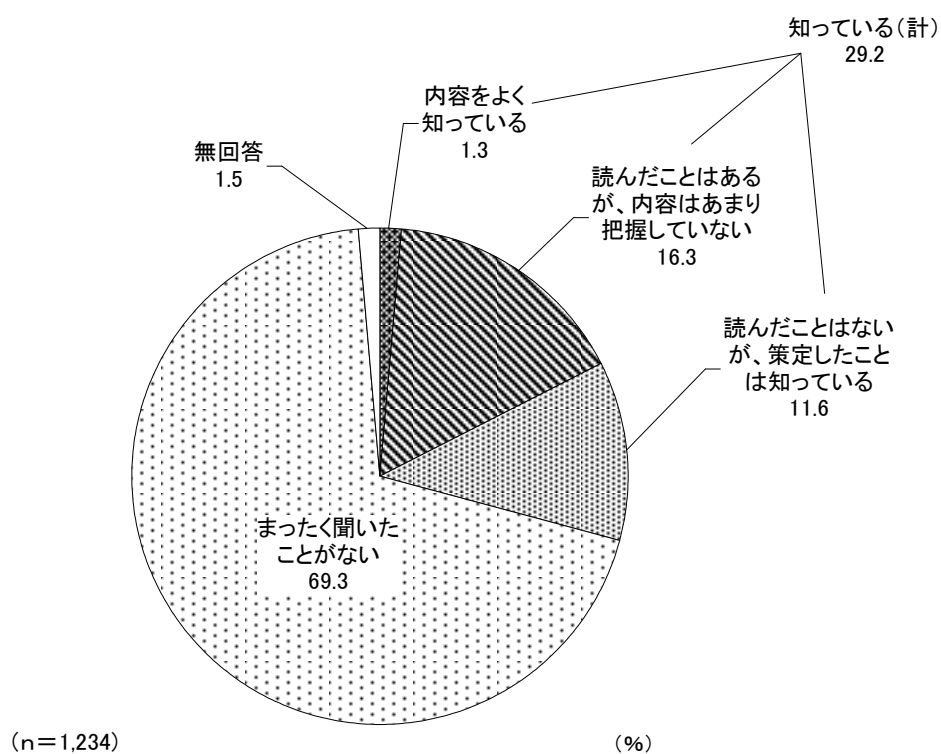


17. 杉並区基本構想について

「杉並区基本構想」の認知度

『知っている（計）』人がほぼ3割

- ◆ 「杉並区基本構想」について知っているか聞いたところ、「まったく聞いたことがない」(69.3%)がほぼ7割となっています。「内容をよく知っている」(1.3%)、「読んだことはあるが、内容はあまり把握していない」(16.3%)、「読んだことはないが、策定したことは知っている」(11.6%)を合わせた『知っている（計）』(29.2%)はほぼ3割となっています。



第55回 杉並区区民意向調査
区政に関する意識と実態
(要約版)

令和5年10月発行

発行 杉並区 総務部 区政相談課
東京都杉並区阿佐谷南1-15-1
電話：03-3312-2111 (代)

登録印刷物番号

05-0037



杉並区

実施 株式会社エスピー研
東京都千代田区飯田橋3-11-20
電話：03-3239-0071 (代)